

令和 2 年度 社会資本総合整備計画 事後評価概要調書

計画とりまとめ課	まちづくり局市街地整備部地域整備推進課	要素事業所管課	市民文化局市民文化振興室、建設緑政局自転車利活用推進室、まちづくり局拠点整備推進室
----------	---------------------	---------	---

1 計画の概要

計画の名称	川崎駅周辺地区市街地の活性化	計画の期間	平成 2 8 年度～ 令和 2 年度
計画の目標	<p>【大目標】 往来し易く、魅力と活力にあふれる広域拠点の形成</p> <p>【目標 1】 駅周辺地区の一体化を進めるとともに、交通環境の適切な再編・整備を進めることにより交通結節点機能を強化し、市の玄関としてふさわしいまちづくりを推進する</p> <p>【目標 2】 安全性・快適性及びまちなみの景観の向上を図り、人と環境にやさしいうるおいある都市空間づくりを推進する</p> <p>【目標 3】 歴史・文化、立地特性等の地域資源を活かし、個性的で賑わいのあるまちづくりを推進する</p>		
計画の成果目標(定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JR 川崎駅と京急川崎駅の 1 日平均乗降人員の合計を 545,867 人/日 (R2) に増加させる。</li> <li>・ JR 川崎駅東口・京急川崎駅周辺地区における放置自転車数を 500 台に減少させ、安全で快適な歩行空間の創出を図る。(R2)</li> </ul>		
計画変更を行った場合、変更内容の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新たな賑わいを創出に寄与する(仮)アートガーデン特別展示室を追加した。</li> <li>・ 小川町自転車駐輪場・日進町自転車駐輪場について、配置計画の見直しを行い事業規模の変更を行った。</li> <li>・ 個性で賑わいのあるまちづくりに寄与するため、インバウンドビジネス等推進事業費補助を追加した。</li> <li>・ 京急川崎駅西街区優良建築物等整備事業の事業計画に伴い、京急川崎駅周辺地区景観形成促進事業を計画から削除した。</li> <li>・ 一部の事業において、工事期間の延伸等による事業期間の変更、事業費の精査による事業費の変更を行った。</li> </ul>		

2 社会資本整備総合交付金を充てた要素事業の進捗状況(概要)

事業の区分	主な事業名	計画事業費		執行額(千円) (評価時)	進捗率 (%)	事業進捗状況の概要
		当初(千円)	評価時(千円)			
A (基幹事業)	(仮称)川崎駅日進町自転車駐輪場	360,000	396,000	396,000	100	完成
	(仮称)川崎駅小川町自転車駐輪場	510,000	378,000	378,000	100	完成
	京急川崎駅西街区優良建築物等整備事業	257,000	6,000	6,000	100	次期計画へ移行
	川崎駅北口地区第 2 街区 10 番館ビル優良建築物等整備事業	65,100	54,000	54,000	100	次期計画へ移行
B (関連社会資本整備事業)	—	—	—	—	—	—
C (提案事業)	(仮)アートガーデン特別展示室	—	13,000	13,000	100	完成
全体事業費(A+B+C)		1,195,100	847,000	847,000 【財源内訳】 国: 343,800 市: 503,200		

3 計画に記載した評価指標の目標値の実現状況

評価指標の名称、内容	① 乗降客数 ② 放置自転車数
定義及び算定式	① J R 川崎駅と京急川崎駅の 1 日平均乗降人員の合計 ② J R 川崎駅東口・京急川崎駅周辺地区における放置自転車数
その指標を設定した理由	① 東西の一体的な駅周辺整備による広域的な利便性の向上度合いを駅乗降客数の増加で評価できるため。 ② 総合的・戦略的な放置自転車対策を行うことで、放置自転車数を低下させ、安全で快適な歩行空間の創出を図れるため。

当初現況値	中間目標値	最終目標値(R2)	実績値(確定・見込)	目標達成状況
① 528,335人/日(H26) ② 1,028台(H26)	—	① 545,867人/日 ② 500台	① 不明 ※R1 565,360人 ② 431台	① 達成 ② 達成
目標達成状況に対する所見	① R2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、全国的に鉄道利用が大きく減少しており、R2年度の見込値については推計困難となってしまいました。しかしながらR1年度時点では、関連事業の整備の効果もあり、既にR2年度の目標値を達成することができています。 ② 令和2年の見込値で、最終目標値を達成しており、事業効果が現れていると考えます。			
将来の見込み	① 京急川崎駅周辺での民間開発による都市機能の更新、JR川崎駅と京急川崎駅間の歩行者アクセスの強化及び歩行環境改善を図ることで更なる増加が見込まれます。 ② 整備した駐輪場の利用促進に加え、利用者へのマナー啓発等の取組みを強化することで、より自転車利用環境の向上が見込まれます。			

#### 4 事業効果の発現状況（計画で設定した以外の数値的・定性的な評価指標によるもの）

評価指標の名称、内容	アートガーデンの累計来館者人数
定義及び算定式	アートガーデンの累計来館者人数
指標とする理由及び計画において設定した評価指標との関連性	浮世絵という歴史的価値のある資源を活用した、個性的で賑わいのあるまちづくりの推進が評価できるため。
評価指標の実績値を含む効果の発現状況	令和元年12月の開館から令和2年9月までの来館者数の累計 8,280人

#### 5 市民・事業者に対する意見募集・説明・調査の状況

意見募集・説明・調査の内容、手法、実施期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見募集 内容：市のホームページに事業目的、事業概要、事後結果を掲載し、市民から意見を募集。また、区役所等に冊子、意見書（紙）を設置。 手法：意見書の持参及び郵送、FAX、メールなどにより意見を募集。 実施期間：9月1日～9月30日</li> </ul>
意見募集・説明・調査の結果及びそれを踏まえた対応方針	JR川崎駅と京急川崎駅のアクセスについて、より快適性や安全性が高まる取組についての意見を頂いており、次期計画において事業の位置づけを検討していきます。

#### 6 今後の方針等

総合的な所見	<ul style="list-style-type: none"> <li>指標の達成度 評価指標として「駅乗降客数」、「放置自転車数」を設定しましたが、「駅乗降客数」については、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、令和2年度の見込値を推計することが困難であり、不明となりましたが、令和元年度時点で既に令和2年度の目標値を超えて増加しており、関連事業における整備の効果もあり、事業の効果が見られたものと考えています。「放置自転車数」については、目標を達成しており、事業の効果が見られました。 なお、「駅乗降客数」については、今回、新型コロナウイルス感染症等の影響により、令和2年度の見込値を算出することができなかったことを踏まえ、次期計画策定においては、外的要因に左右されずに事業効果を計測することができる新たな指標の設定について検討していきます。</li> </ul>
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>川崎駅周辺の回遊性やにぎわいの更なる向上を目指すため、京急川崎駅周辺での民間開発による都市機能の更新、JR川崎駅と京急川崎駅間の歩行者アクセスの強化及び歩行環境改善などについて、引き続き取り組んでまいります。</li> <li>次期社会資本総合整備計画の作成に当たっては、川崎駅周辺総合整備計画におけるまちづくりの方向性と整合を図りつつ、川崎市玄関口として魅力と活力ある広域拠点の形成に向けて取り組んでまいります。</li> </ul>
次期計画 あり・なし	